



THE Y'S MEN'S CLUB OF KOBE PORT
KOBE PORT

THE SERVICE CLUB TO THE YMCA

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

Chartered May 8, 1988
神戸ポートワイズメンズクラブ
〒650-0001 神戸市中央区加納町 2-7-15
神戸 YMCA 本部事務局
Tel 078-241-7201
Fax 078-241-7479
E-Mail: houshi@kobeYMCA.org
http://www.kobeYMCA.org/

第1例会 第2木曜日 7:00-9:00P.M.
第2例会 第4木曜日 7:00-9:00P.M.

第 328 号

神戸ポートクラブ会長(CP) 森 恭子『チャレンジでチェンジを!』"Challenge to Change" 2015年4月

国際会長(I P) Isaac Palathinkal (インド) "Talk Less, Do More" 「言葉より行動を」

アジア地域会長(AP) 岡野 泰和 (日本) "Start Future Now" 「未来を始めよう、今すぐに」

西日本区理事(RD) 松本 武彦 (大阪西) 「響き合い、ともに歩む」 "To walk together, echoing each other"

六甲部部长(DG) 多胡 葉子 (宝塚) 「わたしとあなたのY'S ダムをYMCA と共に」 《ユース・交流・地域》

4月強調月間 YMCA サービス ASF

ワイズは、YMCA スタッフ、ユースと手を取り合って、
共に活動し、共に成長しましょう。

藤本義隆 Yサ・ユース事業主任 (阿蘇クラブ)

< 4月第1例会 >

4月5日はイースターです。イエス・キリストの受難・復活を学びましょう。YMCA は新しい年度を、新総主事のもとでスタートします。

< 記 >

日 時: 2015年4月9日(木) 19:00~21:00

場 所: 三宮ターミナルホテル4階六甲の間

内 容: ドライバー 郡美恵子ワイズ

開会点鐘: 森 恭子会長

会食:

お話: 「クリスマス・イースター・ペンテコステ」

西澤他喜衛 チャプレン

「総主事引退の弁」 水野雄二ワイズ

・ 諸連絡

・ 4月の誕生者お祝い及び今月のうた

・ 閉会点鐘: 森 恭子会長

< 4月のお誕生者 >

8日: 森 恭子ワイズ 14日: 細見 教江メネット

21日: 齋藤 勲ワイズ

< 3月出席状況 >

出席率: 90.0%

(出席総数) 18/20 (在籍会員数)

出席数: ワイズ 18 (内メイクアップ2)

メネット0、ゲスト1、ビジター1 計20名

< 現在のファンド・累計 >

	3月	累計
ニコニコ	10,000円	24,000円
献金積立	15,000円	95,000円
物品販売	2,928円	13,768円

今後の予定

< 4月第1例会 >

4月9日(木)19:00~ 三宮ターミナルホテル

< 総主事就任式 >

4月19日(日)15:00~ 神戸栄光教会

< 4月第2例会 >

4月23日(木)19:00~ 神戸市勤労会館

< 神戸YMCA 創立記念日礼拝 >

5月8日(金)18:30~ 神戸教会

< 5月第1例会 >

5月14日(木)19:00~ 三宮ターミナルホテル

食事代としてとして各自 2,000円ご負担頂きます。正会員の欠席、及びメネット・ゲスト他出席は前々日迄に坂本連絡主事宛連絡下さい。

< 2015年4月の聖句 >

< 「二人は言った。『なぜ、生きておられる方を死者の中に捜すのか。あの方は、ここにはおられない。復活なさったのだ。』」 (ルカによる福音書 24: 5-6) >

教会歴では、主イエス・キリストの受難を偲ぶ受難節(レント)の後、復活節(イースター)を祝います。十字架の出来事は理解し得ても、復活は理解出来ない方は多数存在します。しかし、復活こそが、キリスト教信仰の出発であり根拠です。使徒パウロはダマスコ途上で復活の主と出会って、それまでのキリスト教への迫害者から伝道者へと変えられた人です。主イエスの復活は、十字架の後「イエスの墓は空虚であった(標記聖句) ことから始まります。

(Rev. Nishizawa)

2014-2015年度クラブ役員

【会長】森 恭子 【副会長】広瀬 献児 【書記】鈴木誠也 【会計】小田 浩 【監事】山崎往夫 【連絡主事】坂本庸秀

会長メッセージ

森 恭子

日中は、少し身体を動かすと暑さを感じるようになってきました。お花見のご予定は決まりましたか？お花見の由来は、平安時代に貴族が始めた宴という説と奈良時代に、農村で神様を歓迎し、豊穰を祈るものであったという説があります。花といっても、「さくら」は日本では特別な存在で、「さ」は田の神様を意味し、「くら」は神様の座すところ、という意味で冬の間山にいた神様が、田に降りてくること、つまり4月のさくらの時期は神様の到来を意味していたそうです。今となつては、こうした意味はありませんが、どこかで人間の本能として、冬の間寒さに耐えていたつぼみが、深呼吸しているかのような世界が広がるこの季節。やはり私たちの心と身体の緊張をほぐします。自然と対峙することから離れてしまった私たちは、瞬間に生きるということからも離れたように思います。自然と対峙したとき、5年後や10年後がどうかではなく、この瞬間の変化を敏感に察知し、判断し、行動できるかが重要となります。春は、長期的、理性的視点だけではなく、感覚的視点に立ち返るいい季節かもしれません。

<3月第1例会報告>

3月12日(木) 19:00-21:00、三宮ターミナルホテル出席18名。
ドライバー山崎ワイズ、森会長の点鐘により開会。

西澤ワイズによる聖句・祈祷：教会には1年に三つの大きな祝祭があります。イースターは受難節として主が苦しみを受けられたその時を偲びます。

会長挨拶に続きゲスト紹介。神戸クラブ川崎孝子ワイズにより「4月2日・世界自閉症啓発デー」青い物を身につけたり飾りつけをするようにアピールされた。

会食後、光朔会(オリンピック)理事長山口元氏から、日本聖公会主座主教であった祖父八代斌助氏のお話を伺った。

『「世界のヤシロ空飛ぶ主教」と、言われた八代斌助は、賀川豊彦先生に並ぶような大きな役割を担ってきたはずなのだが、知らされていないのでは非その伝記をまとめた。』

(八代斌助の)ワイズとのお付き合いは、1970年8月の大阪での日本区大会講演が最後だった。私は祖父に育てられ尊敬しているが、いくつかのエピソードを紹介します。

1941年当時の大日本帝国政府によってプロテスタント教会は日本基督教団として統合させられたが、聖公会の多くはこれに加わらず抵抗した為、多くの聖職者が収監され拷問を受けた。しかし彼は、取り調べの刑事を受洗に導いたという「比類稀な豪僧」ということだった。戦後はマッカーサーの依頼によって昭和天皇の親書をイギリス国王に渡す役を果たしたり、ビルマ戦線の虐待事件の裁判によるオーストラリアとの和解に大きな働きがあったが、その手記を読まれた三笠宮殿下との親交が始まった。「デビスカップ」への復帰についてもテニス界では有名である。斌助は自分の事を「世俗の中の大罪人の頭だ」と言っていた。

懺悔をしながら祈る人であり、宗教家であり、学者、教育者、事業家であった。私山口元は、事業家を引き継いでオリンピックを20か所にしたいと願っている。八代斌助という人について聞いて頂き感謝すると共に、毎年のオリンピックでのクリスマス会のご協力に深く感謝します。』

その後質問を受け、第2例会記録を承認し、諸報告、今月のうた、点鐘で定刻に閉会しました。(齋藤・鈴木)

<3月第2例会記録>

日時：2015年3月26日(木) 19~21時

場所：神戸市勤労会館3階304号室

出席者：大野智、大野勉、郡、齋藤、坂本、佐野、鈴木、民谷、橋本、廣瀬献、細見、森、山崎、13名

1) 3月第1例会：ワズ16、ゲスト1、ビジター1計18名

出席率：16+(メイクアップ2)÷20(現会員数)=90.0%

2) 3月活動報告の件

*3月7日(土)揚がれ!希望の凧(須磨海浜公園)雨天中止になったが、クラブとして凧を50個9千円出金して準備した。雨天にかかわらず、来てくれた子どもたちに10個贈呈した。

*3月7日(土)西日本区次期会長・主査研修会、廣瀬献児次期会長出席。

*3月12日(木)第1例会、三宮ターミナルホテル、山口元氏による「世界のヤシロ空飛ぶ主教」

*3月14日(土)神戸メネット会50周年感謝会、石坂和子、大野智恵、鈴木、水野4名出席

*3月21日(土)六甲部役員会大野智恵主査出席、第2回評議会ポートクラブより小田、大野智恵、佐野、鈴木、森、水野、山田7名出席。六甲部則改定、評議会開催について。

*3月27-31日タイ・チェンライ訪問、小田、大野、山崎3名。クラブよりお土産持参。

3) 4~5月クラブ例会予定

*4月9日(木)第1例会、三宮ターミナルホテル、卓話:「イースターについて」西澤ワイズ、及び水野ワイズから総主事退任の弁を伺う。

*4月23日(木)第2例会、神戸市勤労会館305号室

*5月14日(木)第1例会、三宮ターミナルホテル(タイワークキャンプ支援リーダー報告)

*5月28日(木)第2例会、神戸市勤労会館305号室

4)今後の予定

*4月4日(土)メネット事業・希少難病患者支援コンサート」栄光教会。クラブ会員は12時半集合。

*4月5日(日)午前7時イースター早天礼拝、
神戸：東遊園地、西宮：甲東教会

*4月19日(日)15時～総主事就任式(神戸栄光教会)

18時～海外パートナーYMCAとの懇親夕食会

*6月13-14日 西日本区大会(大阪)

*7月25日(土)六甲部第1回評議会

*7月31日～8月2日 アジア地域大会(京都)

5)今後の課題

*クラブファンド「柿日和」は600円、「瓦せんべい」は500円売りを検討する。「新玉ねぎ」1500円販売。

*井上次期総主事4-6月は見学していただき、7月第1例会にて入会式を予定する。

*タイ・チェンライクラブ訪問にてIBC締結について検討される。予算化も必要。

*ユースコンボケーション参加ユース支援の為に5万円程度要請されている。

<西日本区次期会長・主査研修会>

3月7日、8日にかけて、新大阪コンフェレンスセンターにおいて行われた西日本区次期会長・主査研修会に出席しました。初日は、会長として知っておくべきワイズの思想や事務手続き、YMCAの歴史やキリスト教の精神について学びました。特に、親睦と研鑽を通じて、ワイズ自身が輝くことがYMCAに奉仕する最良の方法だというメッセージに感銘を受けました。夕食を兼ねた親睦会では、幅広い地域から来たワイズ、若手のワイズとの交流を持つことができ、六甲部外のクラブの訪問、ワイズとの交流を増やしていきたいと思いました。山田ワイズも「希少難病支援コンサート」のアピールのために飛び入り参加され、当日用意していたチケットも完売できました。

2日目は、進藤次期六甲部長のリードで六甲部の活動について話し合いました。「YMCAと共に」、これまで行ってきた事業を「進化、深化」させようという方針の下、ユースと交流する機会を増やしていくことや、今年度から取り組み始めた希少難病支援活動を継続して持続的なものとしていくビジョンを共有しました。私自身も、これまで活動の中心地だった三宮会館が建設中の最中、いかにYMCAのユースとの交流を増やし共に楽しく活動するための方法を考え、ワイズの皆さんと実践していきたいと思います。

(廣瀬献児)

<チェンライを訪ねてY'sと交流>

去る3月27日関西空港を発ち、28-30日チェンライをポートクラブメンバー(大野勉、小田浩、山崎往夫)が訪問

しました。28日夕、チェンライYの会議室でチェンライY'sメンバー9名、チェンマイY'sメンバー8名、それにチェンマイからのゲスト数名を加えIBCに関する話し合いをしました。締結式に関してはY'sアジア大会の時、またはそれ以降をチェンライY'sで検討することになりました。席上、チェンライY'sより森会長へのメッセージが送られ、



神戸ポートからはミニバナナとY's煎餅を手渡しました。大変短い滞在期間でしたが濃い交流ができました。

(山崎往夫)

<東日本大震災復興支援リーダー会

リフレッシュファミリーキャンプ>

3月21-22日六甲山YMCAで、神戸YMCA東日本大震災復興支援リーダー会が行う、県外避難者の方を対象としたファミリーキャンプに参加しました。このキャンプの特徴は、福島からの避難者、罹災証明書を持っている被災者など分けせず、「県外避難者すべて」としている点があります。移住の理由はさまざまですが、ひとつには放射能の問題があります。多くは、母子避難となり二重生活をしているご家族が多いです。多くの参加者は小さいお子さんとお母さんが多いですが、今回は60代くらいのご夫婦(体調不良でご婦人のみ)もおられました。孫といるようで楽しい、とおっしゃっていました。のんびりした老後が一転したいま、多くの人と集い、子どもたちと触れ合えるこの機会は貴重だと感じます。また、参加したリーダーは、この4月から大学生という若いリーダーや、私たちが支援したタイワークキャンプに2011年3月に参加したリーダーもいました。彼女は小学校の先生となり、このときの体験から現在も、東日本大震災に関わる活動を続けています。このように、社会に出てからもYMCAへと戻ってくる学生は、ほんの一握りとスタッフは言います。人生が一転した人々と直接に関わるこの問題は、彼らにどのような問題意識を持たせるでしょう。また、問題意識を持ち続け、共有し関わり続ける姿勢を、私たちも見せていきたと思います。

(森 恭子)

<ポーポキ・ピースプロジェクト集会>

3/28、森会長から案内があった神戸YWCAでのミニ映画祭に参加してきました。テーマは『東日本大震災・福島第一原発事故をとらえ、どう表現する?〜一緒に考えましょ



う！～』岩手県大槌町の女性写真家の撮った被災時の写真、福島の女性たちが現状を語る映像、福島第一原発事故を女性画家が表現した画像等を視聴する内容でした。合間には5～6人のグループ毎にそれぞれが感じた事をディスカッションしました。15人ほどの参加者の中には進行役のポーキ代表アレキサンダーさん以外に大学教授や留学生など異国の方が6人来ていましたが、皆さんがしっかりした考えを持ち意見を述べているのに感銘を受けました。東日本大震災から4年が経ち、正直職場など僕の周囲では発生当時日本人皆が持っていた感情は薄れているように感じています。この問題は自分の中で絶対に風化させぬ様にしっかりと考え、できる事はやっていきたいと思えます。貴重な集会に参加できたことに感謝です！

(井内朋博)

<メネット事業>

「希少難病患者支援チャリティーコンサート」まであと数日となりました。皆様のおかげでチケット販売も順調で、約300枚お買いあげいただいております。新聞各紙でコンサートの紹介依頼を致しましたので、当日販売も少しは期待できそうです。

最後のコンサート実行委員会で様々な事柄を話し合い、当日の動き等確認致しました。プログラムはチラシ同様アンコラージュにお願いし、構成は実行委員会のプログラム担当にお任せしました。ワイズメンズクラブのことも知っていただくために、その概要を説明したリーフレットをプログラムに挟む予定です。当日は、患者さんとその関係者をご招待させていただいております。希少難病について学び、美しい音楽でともに心癒していただければと思います。

<きらりと輝くアート展>

前回メネット事業として行われた「きらりと輝くアート展」が、今回は地域活動として(宝塚クラブ主催)、宝塚市西公



民館で3月7日から4日間開催されました。神戸ポートからは、前回同様エコール KOBE に出展をお願いしましたが、喜んで取り組んでいただきました。小規模ながらも温かい雰囲気、いきいきと表現された作品の発表の場となりました。(大野智恵)

<新玉ねぎファンD>

「美味しい淡路島の新玉ねぎをファンDに」と淡路島在住の奈良昭彦さんが玉ねぎ農家の勢造さんをご紹介します。今年は、5月16日(土)に仕入れに行くことに

なりました。仕入れ後の保管は、じゃがいも同様郡さん宅の倉庫を使わせていただきます。チラシをご用意いたしますので、周りの方に広めていただきファンDづくりにご協力ください。一箱5キログラム1500円で販売予定です。

(大野智恵)

<諸報告・お願い>

- *大阪での西日本区大会、京都でのアジア地域大会の早割申し込みは3月末日まででしたが、申し込み登録されている方は書記までお知らせください。(鈴木 記)
- *5/23 岡山クラブ50周年記念例会の案内が来ています。西部時代からの仲間です。参加ご希望の方は書記鈴木までお知らせください。
- *次年度用のロースター原稿がきております。皆さんの住所等、次年度クラブ役割を確定しなければなりません。
- *次期六甲部評議会は7月25日(土)、六甲部部会は9月5日(土)です。メモしておいて下さい。

神戸YMCA マンスリーレポート

神戸YMCAでは井上真二新総主事の下、新しい活動が始まっています。水野さんには新総主事のアドバイザーとして「顧問」に就任していただきました。

今後の行事です。ご予定ください。

1. 総主事就任祝福式

- ・ 4月19日(日) 午後3時から5時30分
- ・ 会場：日本キリスト教団神戸栄光教会
- ・ 司式：野田和人牧師

就任祝福の礼拝と茶話会を予定しています。ハンドベルの演奏もあります。新総主事の門出をご一緒にお祝いください。

2. パートナーYMCA 来神夕食会

就任祝福式の後、六甲部各ワイズメンズクラブ合同で海外ゲストのおもてなしをお願いいたします。

- ・ 4月19日(日) 午後6時から8時
- ・ 会場：NOUEN DINING 八百屋農園
(タイシンサンセットビル7F 神戸市中央区北長狭通2-5-1 ☎078-332-3317)
- ・ 会費：5,000円
- ・ 来神予定：シアトル、高雄、天津、大田、水原各YMCAから22名
- ・ 出欠連絡：4月15日(水)までに国際奉仕センターの松田道子までお知らせください。

3. 神戸YMCA 創立記念日礼拝

- ・ 5月8日(金) 午後6時30分から8時30分
- ・ 会場：日本キリスト教団神戸教会
- ・ 奨励：菅根信彦牧師

今年度は神戸教会をお借りします。ご参集ください。